

新基地建設反対名護共同センターニュース

ススム市長3選で新基地の断固阻止を！ 市民集会にオール沖縄 1,200人の熱気



沖縄県統一連とやんばる統一連が共催し、稲嶺ススム後援会の後援で「稲嶺ススム市長3選をめざす“オール沖縄”市民集会」が12日、名護市内で開かれました。集会には日本共産党の志位和夫委員長も参加（写真上）、稲嶺ススム市長はじめ翁長雄志知事の樹子夫人、照屋大河社民党沖縄県連委員長・県議、ススム後援会の屋比久稔選対本部長・名護市議会議長と共に、「稲嶺ススム市長を必ず勝利させ、辺野古新基地建設計画に終止符を打ちましょう」と訴えました。集会には市内外から約1200人が参加、最後に沖縄方式で「頑張ろう！」を三唱、熱気あふれる集会となりました。



屋比久稔選対長
名護市議会議長



照屋大河社民党県連
委員長・県議会議員



翁長樹子
知事夫人



稲嶺ススム
名護市長

日本の平和と民主主義、
地方自治を守る市長選

“稲嶺市長と翁長知事が 許可しない限り 新基地はできない”

志位委員長は12日、市民集会に先立ち先月米軍ヘリが落下物を落とした宜野湾市内の幼稚園や小学校を視察。いかに米軍が幼児児童や児童の危険性も顧みない無謀な訓練を繰り返しているか、その実態を目の当たりにし、怒りを新たにしました。
続いて志位委員長は、米軍キャンプ・シュワブゲート前で、折から違法工事のトラックや作業車がゲートから出入りしている現場で抗議を繰り返している座り込み参加者を激励しました（写真右）。
志位氏は「政府は違法な工事を進めているように見せかけても全体のわずか4%に手を付けているに過ぎない。稲嶺市長と翁長知事の権限の前に本格的な工事はできないでいる。知事と市長を支え必ず新基地建設を阻止するために、諦めずに頑張らしましょう」と訴えました。

志位委員長がゲート前で 座り込み参加者を激励



現場
までは



ゲート前と海上から
抗議行動が続いています
辺野古新基地現場では、日曜祝日を除く毎日、違法な土砂の運搬やK1やN5護岸での工事強行への抗議行動が非暴力で粘り強く続けられています。

右写真は、工事用ゲート前で作業車の進入に抗議する人々（12日）。上写真は、N5護岸での違法な工事の強行の様子（13日、平和丸から）